

新潟市地域公共交通会議西区分科会 会議概要

開催日時	平成20年1月30日(水)午前10:00~午前11:30
会 場	西区役所本館3階 大会議室
委 員 (敬称略)	新潟市西区政策企画課 課長 神戸和彦 国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局 運輸企画専門官 山本隆一 新潟西警察署交通課 課長 小林正美 (代理出席:交通課管理係 係長 長谷川康雄・主任 佐藤俊直) 新潟市西区自治協議会 会長 松原幸夫 坂井輪地区自治振興会 会長 柳澤 譲 黒埼地区連合自治会 会長 武田利秋 特定非営利活動法人 コミュニティバスを通す会 会長 本間 信一 新潟交通株式会社乗合バス部計画課 課長 古田 哲 新潟市西区建設課 課長 伊藤一博
事 務 局	新潟市西区黒埼出張所 所長 小林 巖 新潟市都市政策部都市交通政策課 課長補佐 篠田和男 新潟市西区政策企画課 課長補佐 小松氏盛 ほか4名
傍 聴	新潟日報社 1名
概 要	
1	<p><開会> あいさつ 資料確認 次第 分科会委員名簿 分科会資料 座席表 報告事項 新潟市地域公共交通会議西区分科会設置要領の改正について 平成19年4月1日付:政令指定都市移行による西区発足により,分科会設置要領名及び本文の「7区」を「西区」へ変更。また,組織改編による組織名称の変更。 平成20年1月17日付:平成20年4月1日よりコミュニティバス運行予定のNPO法人 コミュニティバスを通す会会長の委員就任。 委員紹介</p>
2	<p><平成19年度西区・区バス運行概要について> 分科会資料に基づき,事務局が説明しました。 ・平成19年度運行概要及び運行実績 ・平成19年度西区・区バス運行ルート図</p> <p>質疑応答 (質問:本間委員)</p>

中野小屋ルートに乗車率について、区バス区間だけの乗車率は出せないのか。

(回答：古田委員)

区バス対象の停留所ごとの人数は、各バス停ごとに乗り降りした人をカウントする機械を備え付けているので出せるが、その方々がどこで乗ったというのはわかるが、どこで降りたかという動きはわからないので、どうしてもこういった方法でしか出せない。黒埼ルートのように単一のルートなら出せるが、途中からは区バス、途中からは本線という変則運用のため、この区間だけの利用者の数というのは出にくい。

3 <平成20年度西区・区バス運行計画について>

分科会資料に基づき、事務局が説明しました。

・平成20年度西区・区バス運行計画

(黒埼ルート)

運行ルート図、車両写真、車両仕様図、運行ダイヤ

(中野小屋ルート)

運行ルート図、車両写真、車両仕様図、運行ダイヤ、運賃表

質疑応答

(質問：長谷川委員)

発着点が西区役所前ということだが、発着点の待機時間はどのくらいか。

(回答：古田委員)

通常は約3分である。バス停の状況によって短くすることもあるが、基本的には、3分である。

(質問：長谷川委員)

西区役所前のバス停の場所に大型バスが3分停まると、朝の7時と8時の2本がちょうどラッシュ時間にかかってしまい、かなりの渋滞が生じるのではないかと懸念される。今のバス停は交差点の近くにあるが、それをかなり下げなければならなくなるのではないか。坂井輪幼稚園前のバス停も同様である。事務局では、交通量調査をしたりして、発着の時間を設定したのか。

(回答：事務局)

小針先回りの7時17分頃は、渋滞が始まる少し前と思われる。先ほど、新潟交通の古田委員からの説明があった、3分というのは通常ではあるが、この辺だと路線バスは、流通センター方面や新潟大学でバスを折り返して運行しているので、場所はまだ確定していないがそういったところを利用しながら、バス停で待つ時間は極力少なくしようと考えている。一便の7時17分はラッシュの少し前、一番このあたりが混雑するのは8時から8時20分くらいであるので、2便の8時29分というのはまだ多少混んでいる時間かもしれないので、バス停で待っている時間は短くしようと考えている。

(提案：長谷川委員)

これについては、運行が4月1日であるので、それまでに打ち合わせをしたい。停留所の場所も含めて、検討したい。黒埼荘の前まで回るということだが、黒埼荘の前のバス停は新設になると思うが、これも併せて、流通センターの迂回道路についても調査したいと思うので、日を改めて現場打ち合わせをしたいので、事務局で日程調整をお願いします。

(回答：事務局)

了解した。

(質問：長谷川委員)

また、新潟交通に伺うが、ときめきのほうは既存路線だが、大型バスは通っているか。既存の路線なら問題はないと思うが、新設の路線、黒埼荘のほうについては現場を見て判断したい。

(回答：古田委員)

現在も大型バスが通っている。

(質問：柳澤委員)

三点質問。

黒埼ルートについては中学生をターゲットにしているが、7月20日くらいから8月31日までの夏休み期間についての取り扱いはどうするのか。

西区自治協議会での説明では、中野小屋ルートは内野駅を經由して戻るということだったが、それはどうなったのか。

赤塚駅前まで来ているなら、ウェルサンピアまで行ったらどうか。少しでも乗客のエリアを広げることによって、お客を取り込めるのではということもある。ウェルサンピアは利用者もかなりいるように聞いている。中野小屋の意見交換会では、そんな話は出なかったのか。

(回答：事務局)

休みのたびに時刻を変更するのは、わかりづらいので一つでいきたい。そうすると、黒埼中学校をターゲットにしたほうが良いのか、現行ダイヤにしたほうがいいのかという話になるが、現行ダイヤの利用者は一便当たり2人程度である。中学生を乗せることにより、2人よりは大勢になるのではないかと思う。仮にたった一人増えて3人だったとしても、夏休み期間にその一人が減ったとしても、現在よりは利用者が増えると考え。夏休みといっても、中学生がまったく学校へ行かないというわけではないので、以上のような理由で総合的に判断すると、中学生の利用に合わせた時間に設定したほうが良いため、このようにした。

中野小屋ルートについては地元の要望として、内野駅方面への乗り入れという話があった。自治協議会の中でも、できるかどうか検討したいという話をしたが、先ほどの説明でもさせてもらったが、新潟交通のダイヤ変更が5、6月くらいに予定されている。中野小屋ルートは既存の新潟交通のバスを延伸するという手法を取っている。このため、新潟交通の変更によって、また変えなければならない可能性もあるので、これについては新潟交通の変更のときにあわせて可能かどうかを検討したいと考えている。

ウェルサンピアについては、地元の意見交換会の時には要望としては上がってきていなかったと思われる。ウェルサンピアまでルートを延伸すると、さらに距離が伸びる。先ほども申したとおり、中野小屋ルートの収支率は好調だが、利用者の数を見ると黒埼ルートとほとんど変わらず少ない。ウェルサンピアまで相当な距離を延伸して、仮に乗客が2～3名増えたとしても、かえって赤字が増えることが懸念される。中野小屋地区の方々との意見交換会では、何よりもまず、区バスを存続してほしいというのが第一の願いだった。そのため、いたずらに赤字を増やすというのは、収支率の悪化につながる。区バスは収支率の30%を切ると廃止となるので、今は区バスの存続を第一に考えて、このようにさせていただいた。

(質問：松原委員)

黒埼ルートだが、西区自治協議会での要望事項として、便数に関して、黒崎中学校の通学に重点を置くという視点に立ったとき、できれば夕方の便をもう一便増やすと部活を終えた生徒も利用できるようになるというのがある。通常は、朝バスを利用すると夜もバスを利用するということになるが、そうすると仮に夜7時頃の便を増やすと、朝の利用者も増えるということになる。また、夜7時頃の帰りということで、防犯上の関係や、道路の路側帯も十分でなくて危険であるという問題もあるが、それも改善されるという要望だった。今回は無理としても、将来的にもう一便増やすということは可能なのか。事務局と、新潟交通にお聞きしたい。

(回答：事務局)

西区自治協議会の中でのご意見というのが、朝は既存の新潟交通の路線バスがたくさんあるから、区バスを出す必要はないのではないかと。逆に夜は、バスがないので区バスを出してほしいというものだった。それについて調べたところ、勘違いだと思われるが、朝の便は1便しかなく、夕方は3便ある。部活が終わってちょうど良い時間になっている。そのため、こちらとしては区バスに乗って行って帰って、区バスで帰ってもらうという意味合いで、朝1便、夕方は新潟交通の路線バスが3便あるが、その合間を縫って1便と考えている。これで、黒崎中学校の生徒にとりましては、朝2便、夕方4便となるので、この対応でよいと考える。また、さらに増便できるかという話があったが、先ほどもお話しさせてもらったが、かなりの赤字があるため、現段階では予算的に難しいと思っている。(事務局)

(回答：古田委員)

私どものバスも、少ないながら走らせてもらっている。それでもどうしてもだめだということであれば、区バスでという話になると思うが、便数の設定や経費の面など問題になるところがあると思われるので、十分な検討が必要である。

(意見：武田委員)

黒埼ルートのことだが、こうやって改良したら少しでも利用客があるのではないかと黒埼ふれあい協議会ごとに相談し、また総まとめで4つのふれあい協議会が集まってこのルートを決めた。黒埼荘利用も非常に便利になるし、済生会第二病院利用も便利になる。黒埼ルートについてはこの場所でぜひ了承していただき、区バス

を有効に使っていただけることを切にお願いしたい。

4 <坂井輪コミュニティバス試験運行概要について>

分科会資料に基づき、事務局が説明しました。

- ・坂井輪コミュニティバス試験運行概要及び運行実績
- ・平成19年度坂井輪コミュニティバス試験運行ルート図

NPO法人 コミュニティバスを通す会より補足説明（本間委員）

9月に18日間試験運行をさせていただいたが、ルートの中で一部、新潟工業高校の近くの田んぼの中の道で、V字型に通行しなければならない箇所があり、大型バスは通行できないので、本格運行の際には変更したいと考えている。

質疑応答

（質問：松原委員）

このルートで、新潟大学には学生、教職員合わせて1万人以上いるが、新潟大学方面へ延伸できるか。新潟大学には一般の利用もできる図書館があるし、学生はアピタなどの商業施設を利用したいが、行く手段がないということもあり、新潟大学側からすると、延伸してくれたらと思う。その辺の検討はされたのか。

（回答：本間委員）

新潟市長からもその話があったが、経費の面で問題があり、そこまで回ってしまうととても、私どもNPO法人ではそれだけの資金集めが困難である。とりあえずはこのルートで運行して、大勢の方から利用していただいて収入が上がれば、またその時点で新潟交通と協議をしてルートの変更も考えている。また、ジャスコまで回ってほしいという要望や、新潟脳外科病院からも話があったが、地図の中に新潟脳外科病院と書いてもらえるだけでありがたいということで、ルート図の中に入れていただいた。多少のご寄付もいただいた。しかしルートを延長する件については、新潟交通との協議や経費の問題もあるので、とりあえずはこれで成功させたいので、ご理解いただきたい。

5 <坂井輪コミュニティバス運行計画について>

分科会資料に基づき、事務局が説明しました。

- ・坂井輪コミュニティバス運行計画
- ・平成20年度坂井輪コミュニティバス本格運行ルート図
- ・車両写真
- ・車両仕様図
- ・運行ダイヤ

NPO法人 コミュニティバスを通す会より補足説明（本間委員）

料金に関して、障がい者の方も、100円である。

質疑応答

(意見：柳澤委員)

この間床屋に行ったら，コミュニティバスを宣伝するのに，時刻表をもらえたらお客に説明しながら渡してやれるのにとっていた。沿線の床屋さん辺りが宣伝するのに，効果があるのではないか。チラシで配っても，なかなか良くわかっていない。そういうのも一つの方法ではないかと考える。

(回答：本間委員)

時刻表については，A2版くらいの立派なものを沿線の全家庭に1部ずつと，商店，床屋や委員に張り出してもらおうと計画している。多くの皆さんに利用していただくためには，時刻表が家庭にあればわかりやすいのではないかと考える。いずれ作成して皆さんにお配りする。

(意見：柳澤委員)

名刺版のようなものを，床屋さんは言っている。大きいのも良いのだが，小さいのを10枚でも20枚でも置いてもらえれば，お客に話しながら配るといっていた。最近お年よりは車を返上している人が多くなっているので，そういう人に見せて持たせてやれば良いのではないかということだった。

(質問：松原委員)

今の話に関連するが，区バスとコミュニティバスの時刻表が一つになっていると，広告宣伝費や印刷費など安く上がると思うが，そういうのはどうか。事務局とNPO法人 コミュニティバスを通す会両方にお聞きしたい。

(回答：事務局)

わかりやすくして良いと思うので，ぜひ検討して行きたい。

(回答：本間委員)

広告費については難しい問題があり，新潟交通と協議している。コミュニティバスについては，高齢者に多く利用していただくということで，あまり小さい時刻表は今のところ考えていない。できるだけ大きくて見やすいものを，配付しようと考えている。広告費も取れるような時期が来たら，ポケットサイズのものも検討する。今のところは資金の問題もあって，できかねる。

(質問：伊藤委員)

コミュニティバスのバス停の占用申請だが，試験運行のときに一度申請したかと思うが，今回新しいところについては申請しなおしていただきたい。それから，図面の間違いかと思うが，本格運行のバス停がすべて新規バス停となっているが，これはほとんど既存バス停で，新規バス停はないという認識でよろしいか。

(回答：事務局)

本格運行で，このルート自体が新規のルートということで，新規バス停のマークになっているということである。

(質問：伊藤委員)

試験運行と比べると，バス停は変わらないということによいか。

(回答：事務局)

そのとおりである。

(意見：伊藤委員)

区バス黒埼ルートと坂井輪コミュニティバスのルートで重複している部分があるが、バス停を2つ設けることのないように、共用していただきたい。

(回答：事務局)

PRという意味で、新潟交通の既存バス停だけだと、区バスが走っているのかわかりにくいという意見もあり、全部というのは予算的に難しいが、ぜひ両方立ててわかりやすくしてほしいという意見もいただいております、今後の検討課題と考えている。

(意見：伊藤委員)

区バスと坂井輪コミュニティバスが重複している部分があるが、これも2本たてるとということなのか。そうなると、占用申請もそれぞれ必要になるので、お願いしたい。警察でも近くにバス停が2つも3つもできるというのは好ましくないのではないかと。また、国道116号線の部分があるが、これは4月1日から新潟市道になる予定なので、早めに西区建設課と調整して、新潟国道工事事務所への占用許可はもらえないということになる。4月1日からの運行開始だと、3月14日までに申請してほしい。変更無しの部分も、占用更新の申請を同じく3月14日までにお願いしたい。また、参考資料の西区管内バス路線図であるが、区バスルートに誤りがあるので、修正したほうが良い。

(質問：長谷川委員)

バス停に関しては先ほどの伊藤委員と同意見である。これもまた調整を図っていききたい。ルート変更については、変更して良かったと思われる。あの田んぼ道は事故が多く発生しているので、そういうところは避けたほうが良い。新潟交通に一点お聞きしたいが、済生会第二病院発で内回り外回りあるが、バスは何台で運行するのか。また、バスの待機場所は済生会第二病院の構内ということによいか。

(回答：古田委員)

2台である。済生会第二病院構内でバスは待機する。

(質問：長谷川委員)

話がさかのぼって申し訳ないが、黒埼ルートの1便と2便の間はどこでバスを待機させるのか。

(回答：古田委員)

西区役所周辺にはバスを待機させておける場所がないので、より安全な待機場所、流通センターなどで時間調整を兼ねながら迂回して始発場所に付ける。具体的な場所はまだ決まっていないが、3分間始発場所で待機するのが難しい場所なので、ほぼ定時につけるような場所を検討している。

(意見：長谷川委員)

場所が決まったら，連絡をいただきたい。

(質問：松原委員)

区バスと坂井輪コミュニティバスは重複している箇所があるが，ダイヤのかぶりがないようなバランスは検討されているのか。

(回答：事務局)

逆に，区バスと坂井輪コミュニティバスの乗り継ぎを重視している。かぶっているところの間隔をあけると，乗り継ぎに待ち時間が必要となる。西区役所と済生会第二病院で，乗り継ぎがうまくいくように時間設定している。

6 <その他>

特に無し。

7 <閉会>